

## 令和3年1月小矢部市教育委員会定例会会議録

- 1 開催日時及び時間 令和3年1月28日(木)  
開会 午前10時05分  
閉会 午前11時52分
  
- 2 出席委員 1番 野澤 敏夫(教育長)      2番 石野 昌一      3番 前田 智嗣  
4番 古村 正明      5番 佐々木 稲男
  
- 3 説明員 教育委員会事務局次長(教育総務課長) 中村 英雄  
こども課長      今井 保晴      教育センター所長      水口 淳子  
給食センター所長      宮崎 美明      文化スポーツ課長      池田 孝夫  
職務のため会議に出席した職員      教育総務課指導主事      本多 弘子  
文化スポーツ課長補佐      北川 猛  
教育総務課課長補佐      吉田 浩幸  
教育総務課主任      中山 良彦
  
- 4 議事日程  
日程第1 会議録署名委員の指名について  
日程第2 会議録の承認について  
日程第3 教育長の業務について  
日程第4 議案第1号 小矢部市教育委員会表彰について

### 報告事項

- 1 1月7日からの大雪の対応について
- 2 公共施設の開館時間の短縮について
- 3 令和2年度卒業式及び令和3年度入学式の日程等について
- 4 市小中学校施設長寿命化計画について
- 5 第40回市教育大会の開催について
- 6 第39回市学校教育研究大会の開催について
- 7 令和2年度長期欠席・教室外登校児童生徒調査(1・2学期分)について
- 8 市学校給食センター調理等業務委託公募型プロポーザルの結果について

## 5 議事の内容

教育長	(開会宣言及び定足数を満たしていることにより会議の成立を宣言)
教育長	日程第1 会議録署名委員に 5番佐々木委員を指名。 日程第2 前回の会議録の承認について説明をお願いします。
教育総務課 課長補佐	(「日程第2 会議録の承認について」説明)
教育長	12月24日開催の12月定例会の会議録については、今日まで修正意見が無かったとのことですので、承認いただいたものとして取り扱わせていただいでよろしいでしょうか。 では、承認いただいたものとさせていただきます。 日程第3 教育長の業務について各担当から説明をお願いします。
教育総務課長 文化スポーツ 課長 教育センター 所長 学校給食セン ター所長	(日程第3号 教育長の業務報告及び予定について説明)
教育長	私から補足させていただきます。まず業務報告の1月25日ですが、第2回目の市高病原性鳥インフルエンザ対策本部会議が開催されました。22日には第1回目が開催され、市職員を3班体制に分け、1班あたり8時間、夜中も含め24時間体制で寒い中対応したところでした。殺処分は概ね1週間で完了するだろうと見込まれていたところでしたが、実際は25日(月)早朝4時頃に殺処分が完了したとのことでした。本日、急遽、第3回目の本部会議が開催されているところです。様々な点への対応が必要な中で、迅速な対応ができたと感じています。次に、1月13日には石動高校男女ホッケー部全国高校選抜大会準優勝報告会が行われました。インターハイ、国体等が中止となるなかで、この選抜にかける子どもたちの強い意気込みが成果となって実ったものと感じました。コロナの中で大変な状況ではありますが、今後も引き続きがんばってもらいたいと思います。翌日、1月24日に「文化財防火デー」に伴う防火訓練がありました。埴生護国八幡宮と浅地神明社で実施されました。今年は大雪の影響で、水利の確保が困難な状況であり、特に防火水槽は、その除雪を行う必要がありました。そのような中でも、各消防団員は、きびきびと行動しておられ、心強く感じたところです。文化財に対する防火意識が引き続き高まっていくことを願っております。また、1月25日には教育センターが主となり、第4回市英語教育研究推進委員会が開催されました。講師には関西外国語大学の中嶋洋一先生を継続的にお願いしているところですが、コロナの関係で今回はリモートで実施されました。いろいろな動画等を採り入れられ、臨場感のある講義でした。かつ、英語を素材としつつ、本来の授業の在り方そのものについても切り込む非常に内容の濃いお話を伺うことができました。中嶋先生の指導のもと、今後の小矢部市の英語教育が更に前に進むように期待するところです。

それから業務予定ですが、2月10日には、第2回目の市学校給食運営委員会が開催されます。基本的には今回をもって最終の会議になると思っているところです。小矢部市の新しい給食センターがどうあるべきか、その全体像を示していただきたいと思っています。新年度予算査定の状況はなかなか厳しいと聞いていますが、この委員会は、望ましい姿をしっかりと示していくという役割があると思います。新学校給食センターの今後のあるべき方向性をしっかりと示していただきたいと思っています。

補足は以上ですが、日程第3について何かご意見、ご質問等がありますか。

古村委員

業務予定に、校長目標達成面談とありますがどのようなものなのですか。

教育長

これは4、5年前から実施しています。年度当初に各学校長に目標を立てていただいており、例年5月、今回はコロナの関係で6月でしたが、各学校へ訪問し、各校長に対して目標の内容を確認しています。今回の目標達成面談は、一年間を振り返り、その目標の達成度がどうだったかについて再度面談して、次年度に活かそうとするものです。校長先生には主に学校経営や、教員の人材育成などのテーマ毎にそれぞれ目標を設定していただいています。

教育長

他に質問はありませんか。

無いようですので、日程第3については承認いただいたものとして処理させていただきます。

次に、日程第4 議案第1号小矢部市教育委員会表彰について説明をお願いします。

教育総務課長

(議案第1号「小矢部市教育委員会表彰について」説明)

教育長

私から補足させていただきます。10番の山田由紀子さんは、実は一昨年文部科学大臣の優良教職員の表彰を受けられております。同一人物になるわけですが、今回審査委員会では、山田先生の該当理由は、「市内通算20年以上」という別の理由であるということで表彰することにさせていただきました。それから、14番の大道博史さん、15番の中橋文夫さんは20年表彰にも該当するのですが、ご本人から辞退の申し出がありました。今回は、お二人共、年度末に校長感謝状の贈呈を予定しています。それから、石動中学校の沼田校長も20年表彰に該当したのですが、この方も、本人から辞退の申し出がありました。それらを踏まえて、13個人、2団体を選考結果として、ここに提案させていただいたものです。

ただいまの説明について、何かご意見ご質問はありませんか。

無いようですので、承認いただいたものとして処理させていただきます。

次に報告事項に移ります。

報告事項1「1月7日からの大雪の対応について」説明願います。

教育総務課長

(報告事項1「1月7日からの大雪の対応について」説明)

教育長

ただいまの説明について、何かご意見ご質問はありませんか。

前田委員

今回の休校に対して、親御さん等から何かトラブルはありましたか。

教育総務課長	<p>親御さんからのトラブルは特にありませんでした。しかしながら、学校側が対応で苦慮したと聞いています。例えば、蟹谷小学校では学校メールを発信したいのに大雪で学校になかなか辿り着けなかったと聞きました。このため、メール発信に1時間程度遅れたとのことでした。</p>
教育長	<p>ぜひ、緊急防災メールをすべての方に登録願いたいと思っています。今年はコロナの関係で、新1年生については登録の徹底ができなかったと聞いています。今後とも、学校メールと市緊急防災メールの両方併わせて登録していただくことを保護者の皆さんに促していきたいと思っています。</p> <p>ただいまの説明についてほかに何かご質問はありませんか。</p> <p>無いようですので、次に報告事項2「公共施設の開館時間の短縮について」説明願います。</p>
文化スポーツ課長	(報告事項2「公共施設の開館時間の短縮について」説明)
教育長	<p>ただいまの説明について、何かご意見ご質問はありませんか。補足ですが、1月15日に市新型コロナウイルス感染症対策本部会議が開催され、その中で開館時間が議論になりました。実際に調べたところ、富山県は20時まで、それ以外の多くの市町村は21時でありました。しかしながら、近隣の砺波市は20時、南砺市は19時ということで足並みが揃いませんでしたが、大半が21時だったことから小矢部市も21時としたところでした。この取り扱いは1月31日までとなっています。1月31日以降の対応について、たった今、市新型コロナウイルス対策本部会議に出席していた間ヶ数事務局長から、報告をお願いします。</p>
事務局長	<p>先ほどから出席してきました会議の内容について報告させていただきます。公共施設の開館時間の短縮についてが議題となりました。富山県は本日15時に本部会議を開催されるということですが、今現在ステージ2ということで外出自粛の要請がきていますが、この件については今回県では議題にならないと聞いています。したがって、小矢部市としては、富山県の外出自粛要請が解除されるまで、つまり、要請がなくなるまで引き続き現状を維持していこうと決定したところです。ステージ2からステージ1に切り替わる時まで、この状態でいくということでもあります。長引くようであれば、陸上競技場や夜間開放の施設等の冬季休業中の施設についても影響が出てくることとなります。現時点の結論としては、やや曖昧な決定にとどまったと感じています。</p>
教育長	<p>今の決定を受けて、どう市民の皆さんへ周知するか、今後検討させていただきたいと思います。いつまで21時閉館が続くのか、様々な団体に影響が出てきますので、もう少し早く、県に方向性を示してもらえたらよいと感じています。いずれにしても、本日段階の小矢部市の方針は、今ほどの報告のとおりということでご理解願います。</p>
教育長	<p>ただいまの説明について何かご質問はありませんか。</p> <p>無いようですので、次に報告事項3「令和2年度卒業式及び令和3年度入学式の日程等について」説明願います。</p>

教育総務課長	(報告事項3「令和2年度卒業式及び令和3年度入学式の日程等について」説明)
教育長	<p>ただいまの説明について何かご質問はありませんか。私から補足ですが、このような対策については、昨年はコロナの影響で急遽2月28日から一斉休校の措置を取らざるを得なかったため対応が慌ただしくなっていました。今年はこのような準備が予めできており、2月下旬には保護者、関係者の方々へ周知していきたいと思っています。</p> <p>では、無いようですので、次に報告事項4「小中学校施設長寿命化計画について」説明願います。</p>
教育総務課長	(報告事項4「小中学校施設長寿命化計画について」説明)
教育長	ただいまの説明について何かご質問はありませんか。
石野委員	この計画書を作成するにあたり、大変苦勞されたと思います。感想ですが、これから様々な改修を実施するにあたり、小中学校の再編計画とにらみながらやっけないかといけないことと思います。13ページにあるように長寿命化の基本方針として「事後保全」から「予防保全」とある中で、場合によっては再編計画が実行段階に移る時には、必要のない校舎等が出てくると思っています。そうなった場合は、予防保全ではなく事後保全が適切だと思います。とにかく両にらみで検討していかなければならない話であると感じています。
古村委員	少々気になったことですが、校舎の立地場所によって、機械的にこの計画に当てはまらないこともあると思いました。例えば石動小学校は地盤が悪いと聞いています。また、蟹谷小中学校は山間部です。崖、河川等様々な要件がある中で、学校校舎の下の部分によって対応することが異なってくると思いました。そのあたりの安全性や個別の事情も盛り込むべきではないかとも思いますがいかがですか。
教育長	ただいまの質問は、地質や地盤との関係についての指摘と思われるのですが、そのあたりはいかがですか。
教育総務課長	この計画は、30年という中長期的な期間を視野におき、その間の取組みを平準化しようとするものであります。12ページは、今現在の劣化状況を調査したものであります。当然10年、20年経って、実際に工事を実施するときには、その劣化状況に応じて工事していくことになります。この計画はあくまでも現在から10年後、20年後、30年後という計画として整理させていただいています。また学校では、3年に1回の定期点検も実施しています。工事を実施するときには、その時の学校の状況を踏まえて、しっかり設計し、実施していきたいと思っています。また、石野委員さんのご感想のとおり、再編計画と合わせて状況に応じて「事後保全」なのか「予防保全」なのか判断し、必要な投資をしていきたいと考えています。
佐々木委員	12ページを見ると大谷中学校の本館の機械設備にD判定がありますが、具体的な状況を教えてください。
教育総務課長	主に給排水ポンプ、貯水タンク、配管、消防防火設備等を指します。12ページ下段の写真がまさにそのことであり、給水ポンプが非常に劣化の激しい状態です。

前田委員	この計画に示してあるように工事費は多額を要します。基本方針として、経費節減の方法として「事後保全」を「予防保全」にすることは根本的にあたりまえの話であります。様々な工事について、その時にかかる費用が必要となることは、重々わかるのですが、その年に大きく使うお金は1年ごとに貯めておけるものなのか。それとも各年度で使えるお金が決まっているのですか。予算的な話を聞いてみたいと思います。
教育総務課長	改修の費用には、現行制度では国から1/2もしくは1/3の補助金が交付されます。しかしながら、その他の財源は市から持ち出すことになっています。市は、単年度会計であり当年度の残金については、財政調整基金という貯金に積み立てます。この基金を取り崩して、市の様々な事業に対応することもあります。教育委員会だけではこの基金を活用できないのが現状です。
前田委員	そのようなことだろうと思っていました。このような計画を立てても、市でお金を学校施設へ回せない状態なのですね。状況をお伺いし、想像していた以上にお金のかかる話だと実感したところです。
教育長	おっしゃるとおりだと思います。だからこそ、このような計画をしっかりと作っておいて、今のうちからこれだけ費用がかかってくることに備えた算段をしていく必要があるということを示すことが、この計画のもつ意味かと思っています。いくつか修正を要する箇所がある旨の説明がありましたように、現計画は中間報告的なものでありますので、最終版が確定しましたら、もう一度皆さんに呈示させていただきたいと考えています。先ほど石野委員さんが指摘されたように、当然、学校施設の長寿命化は、学校再編との絡みがでてきますので、長寿命化と再編とは、並行して引き続き検討していく必要があると思っています。 他に質問等ありませんか。 無いようですので、次に報告事項5「第40回市教育大会の開催について」説明願います。
文化スポーツ課長	(報告事項5「第40回市教育大会の開催について」説明)
教育長	ただいまの説明について何かご質問はありませんか。 無いようですので、次に報告事項6「第39回市学校教育研究大会の開催について」説明願います。
教育センター所長	(報告事項6「第39回市学校教育研究大会の開催について」説明)
教育長	ただいまの説明について何かご質問はありませんか。 無いようですので、次に報告事項7「令和2年度長期欠席・教室外登校児童生徒調査(1・2学期分)について」説明願います。
教育センター所長	(報告事項7「令和2年度長期欠席・教室外登校児童生徒調査(1・2学期分)について」説明)

教育長

ただいまの説明について何かご質問はありませんか。  
無いようですので、次に報告事項8「市学校給食センター調理等業務委託公募型プロポーザルの結果について」説明願います。

給食センター  
所長

(報告事項8「市学校給食センター調理等業務委託公募型プロポーザルの結果について」説明)

教育長

ただいまの説明について何かご質問はありませんか。  
無いようですので議案、報告事項は以上です。この機会にその他として何かありましたらお伺いしたいと思います。

では、その他としてのご意見ご質問が無いようですので、本日の日程は全て終了とさせていただきます。

本日も長時間にわたりありがとうございました。

新しい年が始まりました。先日の校長会でもご紹介させていただきましたが、先日、毎年恒例の縄文の火占い祭が行われました。私もボランティアとして参加してきましたが、今年は「希望」と書かれた文字札に御神火が倒れ、希望に満ちた年になることを願って参加者全員で万歳三唱をしてきました。しかしながら一方では、引き続きコロナが猛威をふるい、更には先ほどの報告にもありました大雪、加えて鳥インフルエンザが発生するという事態が生じました。2月17日に記者発表が予定されている来年度の予算についても、大変厳しいものになるのではないかと懸念しているところです。

このように、非常に私達を取り巻く環境は次々と厳しいことが重なってきていますが、ここで思い至るのは、「艱難汝を<sup>たま</sup>に玉にする」という諺です。この「<sup>たま</sup>玉」にするということの意味は何なのか、調べてみますと、語源は英語の諺からきていて、「Adversity makes a man wise」という諺でした。wise、ですから、まさに逆境は人間を賢くする、私たち人間は、様々な逆鏡の中でこそ、もっと知恵を出し合いアイデアを出し、新しいものを作りあげていくことができる。逆境は、そのためのチャンスと捉えることができるのだと思います。そして、私は、「Adversity makes a man wise」に「strong」を付け加え、「Adversity makes a man wise and strong」と言い換えたいと思っています。強い気持ちを持ち、希望をもってこれからも様々な教育課題に突き進んでいきたいと思っています。

そのためにも、今後とも、ぜひ委員の皆さんのご指導ご鞭撻を賜りたく、お願いいたします。

最後に、次回定例会について事務局より説明をお願いします。

事務局長

(説明 次回定例会 令和3年2月24日(水)午前10時)

以上をもって閉会します。

以上、小矢部市教育委員会会議規則第18条第2項の規定により署名する。

令和 年 月 日

小矢部市教育委員会

教 育 長

署名委員

作 成 者